慣用句(上級)プリント35（ルビつき）

月　日　名前 _____

問1　テレビの音に（　）を取られる。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 気
2. 目
3. 耳
4. 手

問2　不祥事が発覚し、ついに（　）が飛んだ。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 腰
2. 首
3. 足
4. 肩

問3　「痛しかゆし」の意味はどれですか？

1. 非常に気分が良く、心地よい状態
2. 相手に対して強い怒りを感じる
3. どちらとも決めかねて困る状態である
4. 体調が悪く、痛みとかゆみがある

問4　「釘付けになる」の意味はどれですか？

1. 特定の場所に長時間座り続けること
2. 大声で歌って、周りの人を楽しませること
3. 釘を打って板を固定すること
4. ある一点から目が離せなくなること

問5　慣用句の「袖の下」を、本来の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 寒かったので、袖の下にカイロを入れて温めた。
2. 役人に袖の下を渡して、不正な許可を得ようとした。
3. 袖の下から手を出して、相手に挨拶をした。
4. 着物の袖の下がほつれていたので、母に直してもらった。

問6　「眉に唾をつける」の意味はどれですか？

1. だまされないように用心する
2. 驚いて目を見開く
3. 相手を信用して安心する
4. 相手の言葉を信じて疑わない

問7　「堂に入る」の意味はどれですか？

1. 立派な建物の中に招き入れられる
2. 組織や集団の内部に入り込み、実権を握る
3. 学問や技芸などが十分に上達し、優れている
4. 物事の核心に触れ、本質を見抜く

問8　失敗の悔しさが（　）身に染みる。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 骨
2. 血
3. 肉
4. 肌

問9　「蚊帳の外」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 蚊帳の外で寝ていたので、蚊にたくさん刺されてしまった。
2. 彼は蚊帳の外を歩いて、目的地までたどり着いた。
3. 計画の立案から蚊帳の外に置かれ、意見を言えなかった。
4. 蚊帳の外にいると、中の様子がよく見えて安心だ。

問10　結果が発表されるまで（　）が気でない。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 心
2. 気
3. 頭
4. 体

問11　「尻に火がつく」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. キャンプで焚き火をしていて尻に火がついた。
2. 彼は尻に火がついたような熱いダンスを披露した。
3. 尻に火がついたので、すぐに水で消火した。
4. 夏休みの宿題を最終日にやり始め、尻に火がついた。

問12　「骨身を惜しまない」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 彼は家族を養うために骨身を惜しまず働いている。
2. 骨身を惜しまず、今日は一日 中 寝て過ごした。
3. 彼は骨身を惜しまず、自分の失敗を隠し通した。
4. 骨身を惜しまず、もっと楽な仕事を探すべきだ。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句(上級)プリント35（ルビつき）　答え合わせ・解説

問1　答え 1　気

「気を取られる」の「気」の部分が入ります。 意味は「他のことに心を奪われて、本来すべきことに集中できなくなること」です。

問2　答え 2　首

「首が飛ぶ」の「首」の部分が入ります。 意味は「解雇されること」です。

問3　答え 3　どちらとも決めかねて困る状態である

「痛しかゆし」は「どちらとも決めかねて困る状態である」という意味です。

問4　答え 4　ある一点から目が離せなくなること

「釘付けになる」は、関心や注意を強く惹きつけられて「ある一点から目が離せなくなること」という意味です。

問5　答え 2　役人に袖の下を渡して、不正な許可を得ようとした。

慣用句の「袖の下」は、「自分の利益のために、こっそり渡すわいろ（お金や贈り物）」という意味です。正しく使われているのは「役人に袖の下を渡して、不正な許可を得ようとした。」です。

問6　答え 1　だまされないように用心する

「眉に唾をつける」は「だまされないように用心する」という意味です。

問7　答え 3　学問や技芸などが十分に上達し、優れている

「堂に入る」は「学問や技芸などが十分に上達し、優れている」という意味です。

問8　答え 1　骨

「骨身に染みる」の「骨」の部分が入ります。 意味は「経験や教訓などが深く心に刻まれる」です。

問9　答え 3　計画の立案から蚊帳の外に置かれ、意見を言えなかった。

「蚊帳の外」の正しい使い方は「計画の立案から蚊帳の外に置かれ、意見を言えなかった。」です。 意味は「仲間はずれにされて、物事に関与できない状態にあること」です。

問10　答え 2　気

「気が気でない」の「気」の部分が入ります。 意味は「心配や不安で落ち着かない気持ちであること」です。

問11　答え 4　夏休みの宿題を最終日にやり始め、尻に火がついた。

「尻に火がつく」の正しい使い方は「夏休みの宿題を最終日にやり始め、尻に火がついた。」です。 意味は「物事が差し迫ってきて、落ち着いていられなくなる」です。

問12　答え 1　彼は家族を養うために骨身を惜しまず働いている。

「骨身を惜しまない」の正しい使い方は「彼は家族を養うために骨身を惜しまず働いている。」です。 意味は「自分の労苦をいとわず、ひたすら懸命に働くこと」です。

いちごドリル プリント